

わたしたちが運ぶのは未来です

運輸省



みなと しみず

発行所

第五港湾建設局
清水港工事事務所
御前崎港事務所
下田港事務所



清水港に入港した世界最大のコンテナ船「レジナ・マースク」

4月1日付けで、清水港工事事務所長として着任しました善見です。よろしくお願ひします。五建勤務は初めてですが、以前勤務した沖繩県の平良港工事事務所では、五建の方々と一緒に仕事をし、いろいろと助けていただきました。このことから、今回の赴任はなつかしい感もあり、とても楽しみにしております。

清水に着いて、まず海と富士が目に入り、風光明媚な地と改めて感じました。北に雪を抱いた富士と南の黒潮、それだけで一幅の墨絵になり、多数の名画が生まれたのは周知のことです。中国の陶淵明は、悠然と廬山を見、酒を酌みますが、当地にいればさら



新任の挨拶

地域の発展に全力を

所長 善見 政和

に潮の香と山海の珍珠も詩にしたと思われ、少し惜しい気がします。

さて、清水港では昨年11月に、大型コンテナ埠頭を中心とした新しい港湾計画が策定されました。国際的な港間競争にうち勝つためにも、水深15メートルの最新鋭のコンテナターミナルの一日も早い着工が強く求められています。また御前崎港では多目的ターミナルの建設が今年スタートする見込みですし、下田港では、新構造防波堤の現地設置が行われるとのこと、これら直轄事業の推進に微力を尽くす所存です。

これらの港に限らず、静岡県内各港の発展に力を尽くすのも、わたくしどもの責務だと認識しています。運輸省港湾局の第一線の組織として、支援、協力は惜しまない所存です。

関係各位の御理解と御協力を得て、地域とともに発展する事務所を目指して、努力していきたいと考えておりますので、前所長同様よろしくお願ひいたします。

◆ 転任の挨拶

高松 亨 (前所長)

4月1日づつで国土庁計画・調整局へ転出することになりました。丸2年と短い間でしたが、大変充実した時を過ごすことができた関係各位に感謝申し上げます。この間、懸案であった御前崎と清水両港の港湾計画の策定に立ち会うことができ、また下田港では新構造防波堤の着工も実現しました。こうした当事務所の事業に直接関係するものばかりでなく、田子の浦港の景観計画や浜名港のマリンタウンプロジェクト計画の策定作業など県内各地の地域づくりにも参画させて頂きました。これらを通じ皆様の港湾整備への熱情を肌で感じる事ができ、強い逆風が吹く港湾整備の分野ですが、改めて当事務所の使命を実感し勇気づけられました。「地域に貢献する事務所」は当事務所のモットーです。引き続き新所長以下よろしくご支援をお願いいたします。

新しい職場では、全国総合開発計画がテーマです。上京の折にでも皆様から県内の状況を教えていただけたら幸いです。お待ちしております。最後にになりますが、読者各位のご健康とご多幸を祈念し転任の挨拶いたします。本当にありがとうございます。

「清龍丸」

浚渫兼油回収船一般公開に多数の市民が見学

去る3月7日、運輸省第五港湾建設局の浚渫兼油回収船「清龍丸」の一般公開を、清水港日の出岸壁で行い多数の市民の見学がありました。「清龍丸」は、1時間にドラム缶5千本の油水を回収する能力を持つ世界最大規模の油回収船で、初めて清水港に入港したものです。また一般公開の前日に油回収訓練を実施し、報道機関及び港湾関係者等に公開しました。この様子は、新聞、ラジオ、テレビで大きく取り上げて報道していただき、市民の関心呼び、運輸省第五港湾建設局の実施する事業を多数の市民の方々にご理解していただきました。



平成8年度港湾整備事業

☆御前崎港で岸壁 (-14m) に着工

第9次港湾整備五箇年計画の初年度にあたる平成8年度の子算が5月10日に成立した。このうち、清水港工事事務所が管轄する3港(清水港、御前崎港、下田港)の直轄港湾改修費に48億円が計上された。平成8年度予算では、清水港の新港湾計画に基づき新興津地区の防波堤を着手し、御前崎港では岸壁(-14m)に着工する。また、下田港ではハイブリッド構造による消波ブロック内蔵双胴型ケーソンの2函目の製作及び1函目の据付を行う。管轄港湾整備事業内容の概要は下表のとおりである。



港湾整備事業

1. 直轄港湾改修費

(単位: 百万円)

港名	整備目的	地区	施設名	事業費	事業内容
清水港	港内の静穏度、船舶の安全航行のための整備	外港	防波堤(改良)	112	既設防波堤前面に消波工を整備
		三保	防波堤(改良)	466	既設防波堤前面に消波工を整備
		新興津	防波堤	24	調査
	多目的外貿ターミナルの整備	折戸	岸壁(-12m)	94	調査
	物流施設の再整備	富士見	岸壁(-9m)(改良)	172	上部工腐食箇所を補修
	計			868	
御前崎港	港内の静穏度、船舶の安全航行のための整備	女岩	防波堤(東)	497	本体及び消波工等防波堤築造整備
			防波堤(西)	942	基礎、本体及び消波工等防波堤築造整備
	多目的外貿ターミナルの整備		岸壁(-14m)	636	本工事着工
	船舶の安全航行のための整備		航路泊地(-14m)	26	本工事着工
	計			2,101	
下田港	天候の急変、暴風雨などの異常気象時に内港船舶などが安全に避難するため及び津波対策整備	下田	防波堤	1,930	基礎及び本体工等防波堤築造整備
			計		1,930
	合計			4,899	

2. 作業船整備費

(単位: 万円)

項目	船種	事業費	備考
修理	監督測量船	8	まささ(清水港)、しもだ(下田港)の2隻
	合計	8	

※清水港情報誌

「ワンダーベイズ」発行

清水港工事事務所は、この度清水港情報誌「ワンダーベイズ」の第4弾として「ワンダーベイズ」を発行しました。

既刊の「ベイズ」(イベント、歴史、観光等)、「ナイトビューベイズ」(夜景)、「エキゾチックベイズ」(外国のかかわり)が市民の方々からご好評をいただき継続を望む声が寄せられたため、委員会を設け作成方針を検討してきました。

今回発行の「ワンダーベイズ」は、港の最大の機能である「モノ・人の交流」に焦点をあて、市民生活に密着する衣・食・住・遊を基本として「清水港を経由する輸出入品」を中心に編集しました。

今までのベイズシリーズと同様にイラストや美しい写真を中心にまとめておりますので、引き続き多くの皆様のお



目にとめていただければと思います。

「ベイズ」は無料で配布しておりますのでご一読希望の方は当事務所までご足労をお願いいたします。

ベイズシリーズのお問い合わせは、当事務所庶務課まで。

清水市日の出町7番2号
☎(0543)5214146

※清水港FAZ

計画の承認

清水港地域の輸入促進と活性化を目的とした「清水港FAZ(輸入促進地域)計画」が3月27日国から承認された。

この承認で清水市全域が輸入促進地域となり、輸入促進のための事業がスタートする。

FAZ計画は平成4年度から静岡県、清水市及び清水商工会議所が国の指定を受けるため、準備を進めてきたものであり、今回の承認により平成7年度までに全国で21地域が指定されている。これにより、輸入関連の施設を整備する際、税制、融資などで国の優遇措置が受けられることになる。

FAZ計画のメイン事業となる興津国際流通センターの運営主体となる第三セクター「清水港振興株式会社」も4月30日に設立された。

FAZ計画によると、興津国際流通センターは、現在、港湾運送業者が使用している興津第一ふ頭の建物を解体して造るものであり、輸入貨物の

荷さばきや保管、流通加工機能などを備えた施設で、平成9年度の完成を目指している。このほか、興津国際流通センターに隣接した輸入ビジネス支援センターを、また、日の出地区に輸入品や地場産品をアピールする多目的上屋を設ける計画となっている。

▲世界最大のコンテナ船

清水港に入港

去る3月5日、世界最大のコンテナ船「レジナ・マースク」(81,488トン)が清水港に入港した。

同船は全長318m、幅42mで、コンテナを6,000個以上積み込むことができる超大型のコンテナ船で欧州、東南アジアを巡り日本には、初航海の途中で神戸港からの入港となった。

清水港では化学製品、冷凍品等のコンテナを下ろし、オートバイ、自動車部品、楽器等のコンテナを積み込み横浜港に向かった。

※写真は、表紙をご覧ください。

◎海洋調査船

「白鳳丸」・「アタランテ号」

清水港で一般公開

東京大学海洋研究所研究船「白鳳丸」(3,991トン)、フランスの最新鋭海洋観測船「アタランテ号」(2,355トン)がそろって清水港に入港し、日の出岸壁で3月13日

一般公開された。

両船は、日仏KAIKO-TOKAI計画(東海地域海底の動態に関する国際共同研究)に基づき駿河湾(南海トラフ)で共同観測するために寄港したものであり公開後観測に向かった。

「白鳳丸」の出港にあたり当所の監督測量船「まさき」に国際信号旗UW旗(ご安航を祈る)を掲げ職員が外港防波堤まで伴走見送りした、また「白鳳丸」もこちらの信号に答えUW1旗(あなたの協力を感謝する)と国際信号旗を掲げ乗組員がデッキに出て手を振って出航して行った。

※国際信号旗

(文字旗と数字旗の組み合わせ)



▲ 白鳳丸

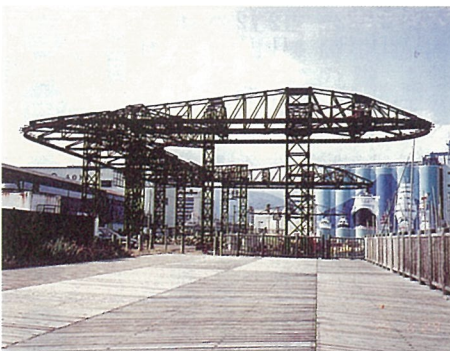


▲ アタランテ号

昭和3年に設置された荷役用のホイスト式クレーンで、当時は神戸と名古屋にしかなかった最新の施設であったそうです。

昭和46年まで使用されていましたが、今は役目を終え変わりゆく清水港を見守っています。

目立つよう目で立たないテルフアーを、一度はじっくり眺めて見てください。



清水の史跡⑦

☆テルフアー☆

日の出地区イベント広場の北側にある、鉄骨の固まりテルフアーを紹介します。

御前崎港 事務所だより

臨港道路4号線開通

御前崎港と国道150号線の相良町地頭方地区南西部を結ぶ「臨港道路4号線」が開通し、3月28日に開通式が行われました。

開通式には、静岡県、地元御前崎町・相良町の関係者、地元選出の国会・県議員らが出席し、運輸省からは川嶋港湾局計画課長、木本五建局長が出席、当事務所からは高松所長、松澤次長、桑原工場長が出席し、テープカットなどを行い、自動車と同線をパレードして開通を祝いました。



祝 臨港道路4号線開通

4号線は、延長2.3キロ、片側二車線で幅員は20×22メートルで、途中には我が国でも施工例が十数例と少ない眼鏡トンネル形式の「みなとトン

ネル」(長さ373メートル)があります。建設事業は、昭和63年度に始まり、トンネル部分は平成3年度から工事着工され、植栽等による完了は平成8年度になる予定となっています。

同線は、増加する港湾貨物の円滑な流通経路の確保、およびマリンスポーツの開催や海浜公園の開発による観光客の円滑な交通ルートの確保を目的として計画され、その開通により、浜松方面からの同港への接続の利便性向上が期待されています。また、将来的には総合流通拠点として整備の進む御前崎港と東名高速道路を結ぶ新たなアクセス道路としての役割も期待されています。

下田港 事務所だより

「ナマコ壁」の検潮所

下田港外ヶ岡検潮所が、静岡県の計画する下田港海岸環境整備事業における緑地埋立により、柿崎の弁天島公園護岸先端に移転となりました。旧検潮所は、古くさくて観光地には似合わない建物であったが、新検潮所の外壁は、下田で有名なナマコ壁で建てられています。

検潮器は従来通りであり、検潮所から事務所へ有線テレ

メーターでデータを取り込めるが、無線ではない(予算の関係)という中途半端な点はあるが、いい感じのものになりました。



旧検潮所の時は、下田港内巡りを営業している伊豆急マリンの裏手にあったため機器点検時に、バスガイドさんや若い観光客に会えたが、新検潮所は、観光スポットにはなっていない所ではあるが、今後は会えなくなるのが寂しい。

人事異動

転入

清水港工事事務所

- 所長 善見政和 (鉄道整備基金)
- 次長 大草光男 (下田港)
- 庶務課長 菅原道夫 (三河港)
- 経理課長 石川龍男 (清龍丸)
- 管財係長 白井 衛 (本局総務)
- 第二工務係長 山田 誠 (三河港)

- 技官 河合尚男 (採用)
- 技官 望月徳雄 (港湾技術研究所)
- 御前崎港事務所
 - 所長 牛田 進 (本局工務)
 - 事務係長 近藤春彦 (本局経理)
 - 技官 細川浩二 (港湾技術研究所)
- 下田港事務所
 - 所長 小山田宇孝 (本局設計)
 - 事務係長 都田 豊 (本局経理)
 - 工事係長 高橋佳克 (本局設計)
 - 技官 島田浩幸 (名古屋空港)

以上15名が転入してきました。よろしくお願い致します。

転出

清水港工事事務所

- 高松 亨 (国土庁)
- 松澤成哲 (退職)
- 瀧澤勝昭 (名古屋港)
- 秋野行雄 (本局港湾工務検査官)
- 石川俊雄 (退職)
- 柴田鋼三 (運輸省港湾局)
- 本多宗隆 (本局工務)
- 久保田靖子 (本局空港調査)
- 川島 勇 (退職)

御前崎港事務所

- 桑原行弘 (名古屋港)
- 長澤隆夫 (名古屋港)
- 櫻井日出伸 (本局工務)

下田港事務所

- 大草光男 (清水港)
 - 小島沙織 (名古屋港)
 - 小椋 進 (本局海域整備)
 - 堀池昌生 (名古屋港)
- 以上の16名が転出しました、地域の皆様には大変お世話になりました。

管内の動き

- 3月
 - 5日 みなと色彩会議
 - 6～7日 「清龍丸」公開訓練、一般公開
 - 12日 駿河湾委員会
 - 12日 清水港港湾文化発掘・調査活用調査委員会(第2回)
 - 22日 駿河海岸連絡調整協議会
 - 27日 浜名MTP委員会
 - 28日 御前崎臨港道路4号線開通式
- 4月
 - 10日 清水港港湾機関長会議
 - 13日 東海大学学生清水港見学
 - 16日 平成9年度予算要求方針説明会
 - 23日 清水港港湾建設工務安全協議会
 - 25日 FAZ第三セクター創立総会
 - 26日 御前崎港湾建設工務安全協議会
- 5月
 - 9日 清水港客船誘致委員会総会
 - 10日 予算要求五建ヒアリング
 - 16～17日 黒船祭り(下田)
 - 23日 清水港利用促進協議会総会
- 6月
 - 1日 運輸省設置記念日
 - 4日 静岡県港湾振興会総会
- 7月
 - 20日 海の日
 - 22日 清水港みなとづくり見学会
 - 26日 清水港湾連絡協議会

発行所
清水港工事事務所
〒424 静岡県清水市日の出町七一
TEL (〇五四三) 五二一四一四六代